

## 政策評価制度のこれまでの主な改善点等

### 1 適切な客観指標の確保

- 2 1 年度：各局等が適切な客観指標の設定、指標の再点検を行うための手順を分かりやすく説明した「客観指標の設定マニュアル」を作成
- 2 3 年度：従来、施策指標から主要な指標を選んで設定していた「政策指標」を、施策指標とは別に政策独自の指標を設定
- 2 6 年度：政策の客観指標評価に施策の客観指標評価を加味した客観指標総合評価の実施により、政策評価と施策評価との乖離を縮減

### 2 評価結果のより分かりやすい発信

#### (1) 政策・施策評価票の改善

- 1 9 年度：経年変化の比較ができるよう、3 年分の評価を掲載  
総合評価の原因分析や今後の方向性に関する記載を追加  
施策評価票への事務事業評価結果の記載につき、従来の主な事務事業名に加えて、予算額、評価結果等を掲載
- 2 1 年度：見開き 2 ページに統一し見やすさを改善
- 2 3 年度：施策評価票の「この施策を構成する事務事業」欄に掲載する事務事業評価結果について、従来は前年度分を掲載していたが、当年度分を掲載
- 2 6 年度：客観指標と市民生活実感調査結果の原因分析を踏まえた本市の課題や方向性の記載を充実
- 2 8 年度：施策評価票について、市民生活実感調査結果を過去 2 年分記載し、経年変化を把握できるよう記載内容を充実  
政策・施策評価票について、総合評価（客観指標総合評価、市民生活実感調査総合評価）が、c 評価（状況はどちらとも言えない）以下の場合に原因分析を重点化することで、より分かりやすい評価票に改善

#### (2) 冊子「政策評価結果」の記載の充実

- 2 0 年度：点字版を作成
- 2 4 年度：市民生活実感調査の概要を記載  
市民意見申出の方法等を記載
- 2 6 年度：評価結果を踏まえた市の課題や方向性の記載を充実
- 2 7 年度：政策評価結果の経年変化やその原因・特徴がより把握しやすいよう記載を充実
- 2 8 年度：政策重要度と市民生活実感のマトリックスについて、前年度からの動向が把握できるよう改善

### 3 評価結果の活用に向けた取組

- 26年度：基本計画実施状況報告への評価結果記載による両者の連携
- 27年度：政策評価票と施策評価票，また政策及び施策の評価票と客観指標データ，それぞれがスムーズに相互参照できる構成に改善
- 28年度：市民生活実感調査の集計データについて，市民や企業，教育機関等が利活用できるよう，京都市オープンデータポータルサイト「KYOTO OPEN DATA」（平成28年11月開設）に掲載

#### （ホームページの充実）

- 19年度：全ページの閲覧を開始
- 22年度：評価結果のポイントが一目で分かるページを掲載
- 25年度：「よく分かる！京都市の政策評価制度」を掲載

